



2026年2月12日

各 位

会社名 東洋エンジニアリング株式会社
代表者名 取締役社長 細井 栄治
(コード:6330 東証プライム)
問合せ先 経理部長 九重 友紀
(TEL 043-274-1000)

2026年3月期通期連結業績予想の修正ならびに 配当予想の修正に関するお知らせ

当社は本日開催の取締役会において、最近の業績動向等を踏まえ、2025年5月15日に公表いたしました2026年3月期(2025年4月1日～2026年3月31日)の通期連結業績予想ならびに期末配当予想の修正を決議いたしましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2026年3月期通期連結業績予想数値の修正(2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A) (2025年5月15日発表)	百万円 200,000	百万円 1,500	百万円 6,500	百万円 5,000	円銭 85.33
今回修正予想(B)	185,000	△20,000	△13,000	△15,000	△255.98
増減額(B-A)	△15,000	△21,500	△19,500	△20,000	
増減率(%)	△7.5%	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2025年3月期)	278,091	2,591	6,459	2,020	34.49

(注) 2019年3月に発行しましたA種優先株式を含めて1株当たり当期純利益を算出しております。

(2) 修正の理由

主にブラジル向けガス火力発電案件における売上高の減額により、売上高は前回公表値から150億円減収の1,850億円となる見込みです。また、同案件並びに国内向けバイオマス発電案件に関する追加費用の計上等により、営業利益は前回公表値から215億円減益の△200億円となる見込みです。

ブラジル案件に伴う同国での支払利息負担は増加となる一方、持分法適用関連会社のプロジェクトが順調に進捗していること等により営業外損益は改善する見込みで、経常利益は195億円減益の△130億円となり、その他の海外子会社における税金費用の増加により、親会社株主に帰属する当期純利益は200億円減益の△150億円となる見込みです。

前期に損失を計上したブラジル向けガス火力発電案件については、契約対価の改訂および工期の見直し等について、顧客との間でエンジニアード協議を継続しておりましたが合意に至らず、当社グループは2025年7月に仲裁を申し立てました。顧客は工期遅延にかかる予定損害賠償金の適用を主張し、当社グループが既に履行した役務に対する対価の支払を2025年10月以降停止しているため、支払留保が相当額まで累積しております。当社グループは仲裁手続きにおいて主張を適切に展開し、債権の

回収に努める方針ですが、仲裁の長期化や顧客の信用状況等を総合的に勘案し、当第3四半期連結会計期間において、顧客からの契約対価の回収可能性を保守的に評価するとともに、工事完成までに要する費用を再精査の上で、工事損失を追加計上しています。これらに加え、同国での借入金に係る支払利息の増加等を含むブラジル事業関連の今回の収支悪化は、合計 205 億円となる見込みです。

2. 配当予想の修正について

(1) 配当予想修正の理由

前述の通期連結業績予想の修正を踏まえ、当期の期末配当につきましては、誠に遺憾ながら無配とさせていただきます。

株主の皆様には深くお詫び申し上げると共に、今後の業績回復と財務状況の安定化、早期の復配実現に努めて参りますので、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

(2) 修正の内容

	年間配当金(円)		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想 (2025 年 5 月 15 日発表)		25.00	25.00
今 回 修 正 予 想		0.00	0.00
当 期 実 績	0.00		
(ご参考)：前期実績 (2025 年 3 月期)	0.00	25.00	25.00

(注) 上記の業績予想および配当予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合がございます。

以 上